令和５年度

南天白通信

令和5年10月25日 名古屋市立南天白中学校

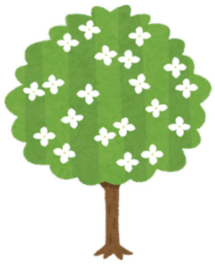
REOプロジェクト 広報版　第2号

先生(校長先生)は先月の25日から26日の２日間、２年生と稲武野外学習に行ってきました。今月の集会でも話をしましたが、そこで２年生が主体的に活動をしていたという話をしましたね。実は２年生の稲武の目標が「全員主役　楽しむ稲武！」だったんです。まさに、主体的に活動に取り組むことが、２年生の稲武の目標だったんです。

最後の退所式の時、先生が２年生に目標が達成できたか聞いたところ、ほとんどの人が、「主役、もしくは準主役になれた！」と答えてくれました。そのことは、２年生が書いたまとめの作文からもわかります。

①　この２日間、自分にとって最高の思い出になりました。実行委員の役割や取り組んだことを通して、改めて全員が主役になったなと思いました。

②　あっと言う間の2日間だったけど、色々なことを経験できて、その中でみんなとの絆をより深めることができたと思うし、全員が主役になって、みんながみんなで楽しませることができたから、すごく充実した2日間になったと思った。



なぜ、そんな気持ちになれたのか。その理由が知りたくて、先生は他の２年生の作文を見せてもらいました。

③　スローガンの「全員主役　楽しむ稲武」も、しっかり考えながらやることができた。みんなが主役だから自分が楽しまないとみんなが楽しくなくなると思った。

⑥　それぞれが積極的に動かなければ、あそこまで楽しい稲武生活を送るのは難しかったと思っている。全員が成長できるような機会をもらうことで、最高の稲武にすることができた。

これらの作文を見ると、「主役になれた」と思えた理由の一つは、２年生のみんなが「主体的に取り組むこと」、言い換えれば「積極的に自分の役割をがんばること」ができていたからだと思います。

でも、他の作文を読むと、その「全員主役」が、もう一つの目標「楽しむ稲武」につながっていくのがわかります。

⑤　稲武に行く前の(キャンプファイヤー)実行委員会の時は、失敗したらどうしようかと不安が多かったけど、キャンプファイヤーが始まったらみんなが楽しそうにしているのを見て、本当にうれしかった。それぞれの活動でそれぞれの実行委員が全力で楽しませてくれて、とてもいい思い出になった。

④　「全員主役」というところでは、特にキャンプファイヤーの時に全員が主役になれたのではないかと思った。キャンプファイヤー実行委員はもちろん、それ以外のみんなも、全員でいっぱい楽しめてすごくよかった。

⑦　トーチを振るときはすごく緊張していましたが、振り終えたときの達成感と、みんなから「きれいだった」「感動した」などと聞いて、すごくうれしかったです。

⑧　この稲武で、皆がそれぞれの実行委員の仕事を頑張って取り組み、協力し合った上で、こんなに楽しめたと思うと、自分もしおりを作ったり、稲武で少しでもみんなが行動しやすいように作ったりと、頑張ってよかったな、と思えた。他の実行委員の人たちにも稲武をこんなに楽しませてくれたことに感謝している。

「精いっぱい自分の役割をがんばっている(主体的に取り組む)姿や、楽しんでいる姿」は、その周りにいる人も感じることができるんですね。だから稲武での活動は楽しいものになるし、みんなが楽しそうに取り組んでいるのを見れば、実行委員やリーダーの人もやりがいや充実感を感じる。そうなれば、きっと次の行事も、もっと頑張ろうと思える…。

すばらしいサイクルになるんじゃないかなと思います。「生徒のみんなが学校の様々な活動に主体的に取り組む姿が増えるほど、きっと学校は楽しくなるに違いない。」そんなことを感じた稲武野外学習でした。